

施策番号 1-2-2	施策名 児童福祉の充実	基本目標	誰もが健やかに生き生きと暮らせるまちづくり		
		政策名	子育てしやすいまちづくり		
主管課 施策関係課	主管課	子育て支援課	課長名	佐々木快治	内線 580

1. 施策の方針と成果指標

施策の方針		対象	意図				結果
児童の健やかな心身の成長を促すとともに、幼保相互の子ども情報の連携、保護者への教育情報の円滑な提供を促進します。		児童 保護者	・児童の健やかな心身の成長 ・幼保相互の連携が進み、保護者への教育情報の提供がスムーズになされる				保護者が安心して子どもを預けることができる
成果指標	説明	単位	23年度(策定時)	28年度	29年度	30年度	
① 保育所の保育サービスに満足している保護者の割合	保護者アンケート	%	認可 94.0 農村 85.0	認可 85.8 農村 91.5	認可89.4 小規模91.3 農村97.9	90.0	
② 保育所待機児童数	実績数	人/年	0人/年	0人/年	0人/年	0人/年	
③ 子どもセンターに満足している利用者の割合	利用者アンケート	%	未実施	86.7	89.0	90.0	
成果指標設定の考え方	①、③の成果指標は90.0%以上を目指す。②は待機児童ゼロを継続する。						

2. 施策の事業費

	28年度決算	29年度決算
施策事業費(千円)	647,695	1,446,759
人工数(業務量)	4.3777	4.8155

3. 施策の達成状況

(1) 施策の達成度とその考察			
①平成29年度の成果評価(前年度比較)	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上した <input type="checkbox"/> 成果は変わらなかった <input type="checkbox"/> 成果は低下した	想定される理由	①については、三者協議会における小まめな情報共有や農村部において休日保育を開始したことが評価につながったと思われる。②は町独自の待機児童対策を継続実施したことによる。③は子どもセンターの開所時間の拡大等が評価されたと思われる。
②平成30年度の目標値達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 現状の取り組みの延長で目標は達成できる <input type="checkbox"/> 現状の取り組みの延長で目標達成は難しいが、現行事業の見直しや新規事業の企画実施で目標達成は可能 <input type="checkbox"/> 事業の見直しや新規事業の企画実施をしても目標達成は難しい	根拠(理由)	①は、ひだまり保育所を始めとする保育サービスの充実や遠距離送迎対策により、満足度は更に向上されると考える。 ②は、ひだまり保育所の開設や芽室幼稚園の認定子ども園化により、目標数値の継続は可能と考える。 ③は、統括支援員を中心としたきめ細かい支援の継続や運営委員会によるセンター事業の充実検討により、目標達成は可能と考える。
(2) 施策の成果評価に対する平成29年度事務事業の総括			
①施策の成果向上に対して貢献度が高かった事務事業	認可保育所運営事業 農村地域保育所運営事業 子どもセンター運営事業	②施策の成果向上に対して貢献度が低かった事務事業	
③事務事業全体の振り返り(総括)	保護者はもちろんのこと、幼稚園、保育所、子育て支援団体との細やかな意見交換を恒常的に実施したことにより、情報と人的ネットワークの構築が図られ、個別事務事業の充実につながった。また、平成29年度は農村部において休日保育を開始し、農繁期における保育サービスの充実を図ったことにより、一定程度の評価を得ることができたと考える。		

(3)「施策の方針」実現に対する進捗結果

進捗結果	A	B	C	D	E
			○		

※該当に○印

- A: 実現した
- B: (後期実施計画策定時と比較して)大きく前進した
- C: (後期実施計画策定時と比較して)前進した
- D: (後期実施計画策定時と比較して)変わらない
- E: (後期実施計画策定時と比較して)後退した

4. 施策を取り巻く状況変化・住民意見等

施策を取り巻く状況と今後の予測	<p><施策を取り巻く状況> 保育を必要とする児童の増加や多様化する保護者ニーズに対応するため、町立の認可保育所を設置するとともに、芽室幼稚園の認定子ども園化を支援した。</p> <p><今後の予測> 国の教育費無償化の影響により、今後も保育ニーズや特別保育(病児保育、休日保育等)の要望が更に高まることが予想される。</p>
この施策に対して住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか?	①病児保育の実施 ②休日保育の実施

5. 施策の課題認識(現状の課題、新たに取り組むべき課題)

課題① 病児保育を求める声への対応 病後児保育は既に実施しているが、病気や怪我の急性期における病児保育を求める声にも対応するため、今後も町内での実施に向けた関係機関との協議を進めていく。 課題② 休日保育を求める声への対応 町立の保育所において休日保育を実施したところであるが、今後は芽室町全体の休日保育について、更に検討を進めていく。

6. 総合計画推進委員会(庁内評価)

評価	ハード面の整備は平成29年度で完了しており、順調に前進していると言える。		A	B	C	D	E
		進捗結果			○		
今後の取組に対する意見	今後の人口推計も視野に入れながら、施策・事業に関する将来展望をもって進めてもらいたい。	A: 実現した B: (後期実施計画策定時と比較して)大きく前進した C: (後期実施計画策定時と比較して)前進した D: (後期実施計画策定時と比較して)変わらない E: (後期実施計画策定時と比較して)後退した					

7. 総合計画審議会(外部評価)

評価	ひだまり保育所の充実、成果指標の実績値の高さなど、策定時と比較して前進していると評価する。		A	B	C	D	E
		進捗結果			○		
今後の取組に対する意見	保育施設については、町営と民営のバランスや、新規施設とのバランスを考慮しながら運営して行ってもらいたい。	A: 実現した B: (後期実施計画策定時と比較して)大きく前進した C: (後期実施計画策定時と比較して)前進した D: (後期実施計画策定時と比較して)変わらない E: (後期実施計画策定時と比較して)後退した					